

1

2007年

組合広報

NO. 481

よろこばれ 期待され 魅力ある

東京都鍍金工業組合
東京鍍金公害防止協同組合

URL <http://www.tmk.or.jp>

年頭挨拶	さらなる「環境との共生」を	理事長 大村功作	1
	各支部新年のページ		3
年頭所感	都の産業労働施策へのご理解を	東京都産業労働局長 島田健一	15
	明日を、自ら信じて	大田支部長 佐藤富幸	16
	青年部会存続慎重に議論を城南連合支部青年部会長	入内島正悟	17
	思いやりを大切に	葛飾支部青年部会会長 黒田祐二	18
	支部、本部への積極参加を	向島支部若葉会長 岩井孝之	19
	希望の年を迎えて	西部支部青年部五月会長 鈴木信夫	20
	自社を見つめなおし地固めを	十日会会長 太田幸一	21
	理事長日誌、組合・関連団体行事予定		22
あなたの予定表	2月の環研・協組集荷日程ほか		23
	高島議員 都議会定例会で土壌汚染対策を質問		24
	正副理事長・専務理事 都庁へ新年挨拶回り		25
	訓練校2月授業案内		26
	ME T E C' 07 第36回表面処理材料総合展		27
	新年名刺広告		28
	中退共制度に加入しませんか		32
	現代ミステリー小説「名もなき毒」	永田一雄(足立支部)	37
	東京都中小企業の景況、訃報		38
お気に入りの散歩道	もつ鍋「繁枿」	岡 正典(西部支部)	39
つま恋坂	たまには天文学でも…	小島一浩(足立支部)	40
支部通信	足立支部、中央支部、足立鍍友会		43
	中国語これはなにかな?「三明治」		44

さらなる 「環境との共生」を



東京都鍍金工業組合
東京鍍金公害防止協同組合
理事長 大村功作

新年明けましておめでとうございます。平成 19 年の新春にあたり、皆様様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は景気の拡大が持続して、期間としては戦後最長だった「いざなぎ景気」の 57 か月を超えるに至り、9 月には秋篠宮家に親王が誕生するという慶事もありました。また、スポーツ界では、トリノ・オリンピックでの荒川静香選手の金メダル獲得、WBC での「王・ジャパン」の優勝、夏の甲子園での東京代表・早稲田実業高校の優勝など、明るい話題が続きました。

一方では、飲酒運転による重大事故の多発、幼い子供に対する虐待、学校などでのいじめに絡む生徒・校長の自殺など、痛ましい事件・事故が目立ちました。また、相次ぐ官庁・県庁での裏金問題や汚職事件、時代の先端を走る経済界のホープといわれた若手事業家たちの証券取引法違反事件、高校での必修科目未履修の表面化など、どこか社会のタガが緩んでしまったかのような事件が続出しておりますし、「北朝鮮」がミサイルを発射したり、核実験を行ったりと、近隣関係も物騒なことになってまいりました。

このように、明るい話題よりも先行きの不安のほうが心配になりがちな世相ではありますが、5 年半にわたった小泉政権の後を受けて、昨年 9 月に発足した安倍内閣による舵取りで、今年は景気拡大をさらに持続させ、わが国がよりよい方向へ進んでいくことを大いに期待したいものです。

さて、景気拡大は「いざなぎ超え」といわれるほどになりましたが、各種の調査では大企業を含む大多数の企業が「実感がない」と回答しています。これは、各方面から指摘されているように、今回の景気拡大は「いざなぎ」とは成長のスケールやパワーが比較にならないほど小さく、弱いためと思われれます。また、輸出と設備投資は好調なのに消費が伸びないため好況感が薄く、企業規模間、業種間、地域間などでの格差も目立ち、景気回復の恩恵が広く波及していません。まさに「実感なき景気拡大」といえましよう。

私どもの業界においても、景気は緩やかながら改善の傾向にはありますが、原油の高騰に加えて、ニッケル、亜鉛等の金属材料価格が高値圏で推移するなど、新たな不安要因が現出しており、受注産業という業態においては、これらを販売価格に転嫁することはきわめて困難な状況です。

こうした中においても、環境対策は引き続き最重要課題です。当業界では従前から環境に十分配慮し、各事業場においては製造工程における有害物質の管理の徹底を図るなど「環境との共生」に努めてきたところです。

私が会長を仰せつかっている全国鍍金工業組合連合会においても、去る 11 月 22 日に開催された第 44 回全国大会において、昨年が続いて「環境との共生」をメインに訴えた『環境との共生—水と空気と住みよい地球を—』という大会スローガンが採択されています。

環境対策の中で当面する重要課題は、土壌汚染と排水規制です。まず土壌汚染については、土壌調査に高額のコストを要するだけでなく、調査結果によっては浄化措置等にどれだけの経費がかかるか、予測もできないのが実情です。

これらのことを踏まえて、当組合では昨年、東京都に対して、工場跡地の有効な利用方法について適切なアドバイスをさせていただくこと及び概況調査についての公共負担を要望いたしました。

都は、環境問題に前向きな姿勢で取り組んできた私たちの要望に対して真剣に耳を傾けてくださっており、何らかの対策をとるべく検討していただいているようです。私も事業者が法令上の義務を履行できるよう、実効ある仕組みが確立されることを期待したいと思います。

排水規制については、「排水基準を定める省令」が改正され、平成 18 年 12 月 11 日から施行されました。亜鉛の規制値が現行の 5mg/L から 2mg/L に強化され、電気めっき業には現行と同じ 5mg/L の暫定基準が 5 年間適用されることとなりましたが、この 5 年の間に今後の対応を考えていく必要があります。

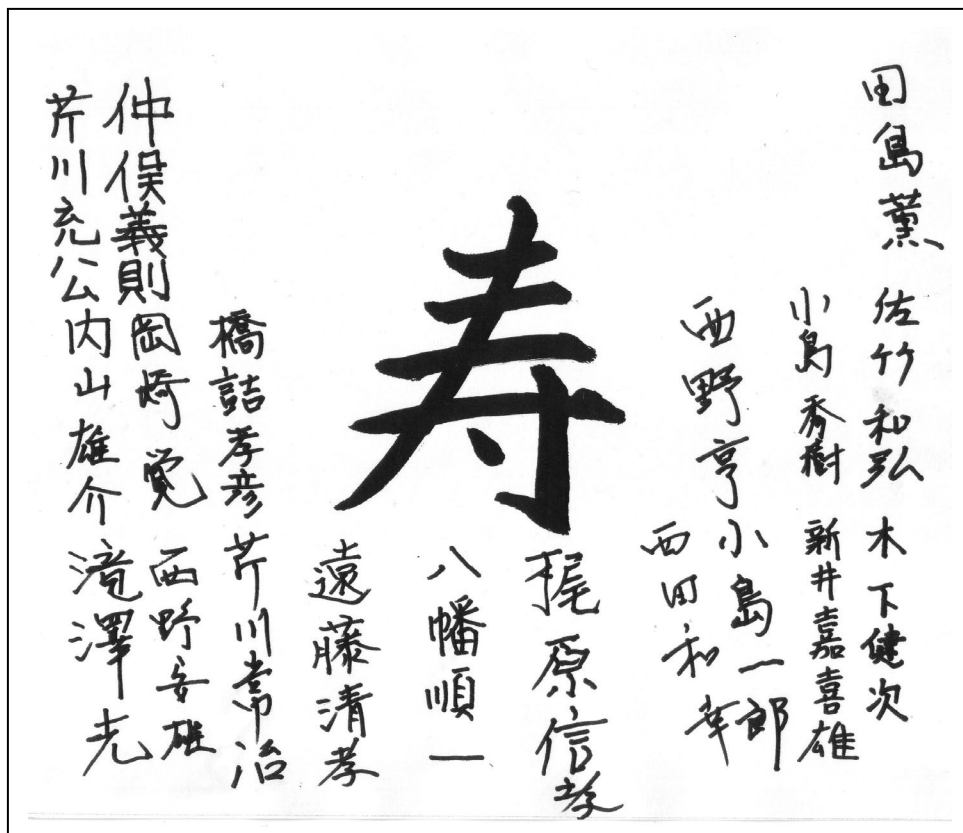
また、ふっ素・ほう素等の暫定排水基準の期限が今年の 6 月末に迫ってきましたので、暫定基準適用期間の再延長をはじめとした、現実に即した方策を関係方面に要請していく必要があります。

このほか、昨年来、組合の組織運営上の課題である「支部の統合問題」について、組合員数の減少が著しい関係支部を中心に検討していただき、円滑な支部運営の実現に向けて一定の方向が出されつつあります。今年も、この方向を確かなものとし、より力強い支部運営・組合運営に取り組んでまいりたいと存じます。

新年を迎え、決意を新たに、組合執行部一同は、組合員の皆様及び組合事務局職員とともに、一丸となって組合諸事業を全力で推進し、めっき業界の発展のために貢献してまいりたいと考えております。新しい年が希望に満ちた輝かしい年になりますよう、皆様にはなお一層のご支援、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

年頭にあたり、組合員の皆様のご多幸とご健勝を、心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

謹賀新年 城東支部



(城東支部忘年会／平成 18 年 12 月 13 日)

謹賀新年 城南支部



新年おめでとうございます。

本年度はいよいよ品川支部との統合が実施され、新支部誕生となります。

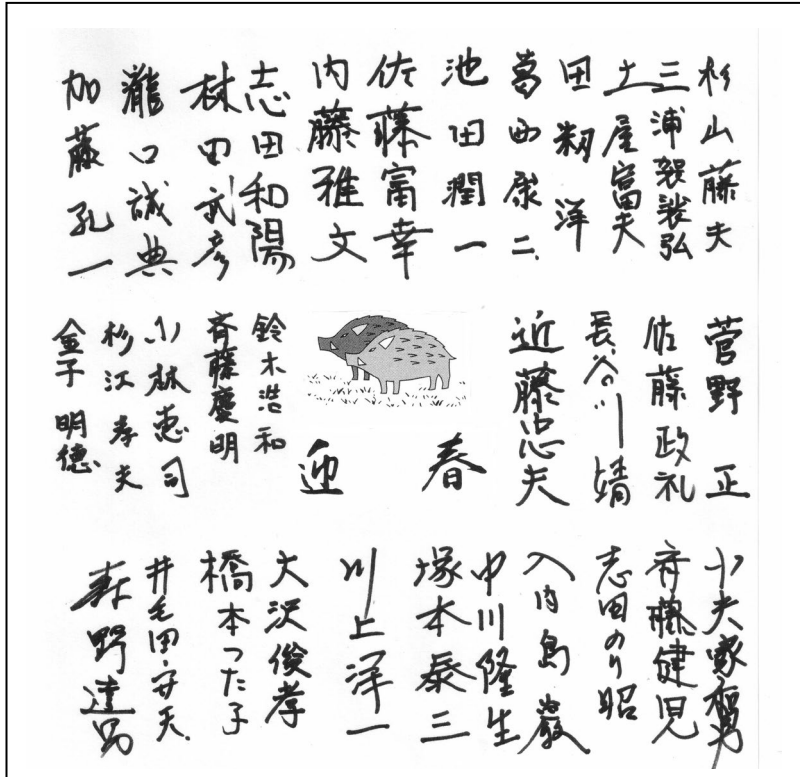
新支部の発展と組合活動の益々の充実を期待しています。

数は力となります。品川支部会員の皆様よろしくお願ひ申し上げます。待っています。

(写真:城南支部忘年会／平成18年11月29日)

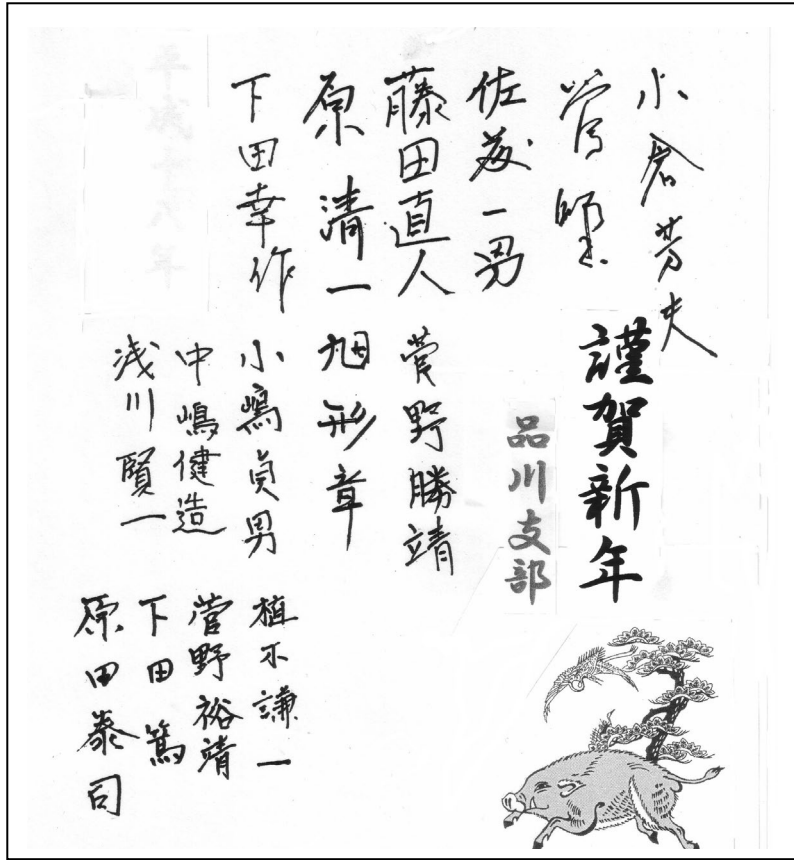


謹賀新年 大田支部



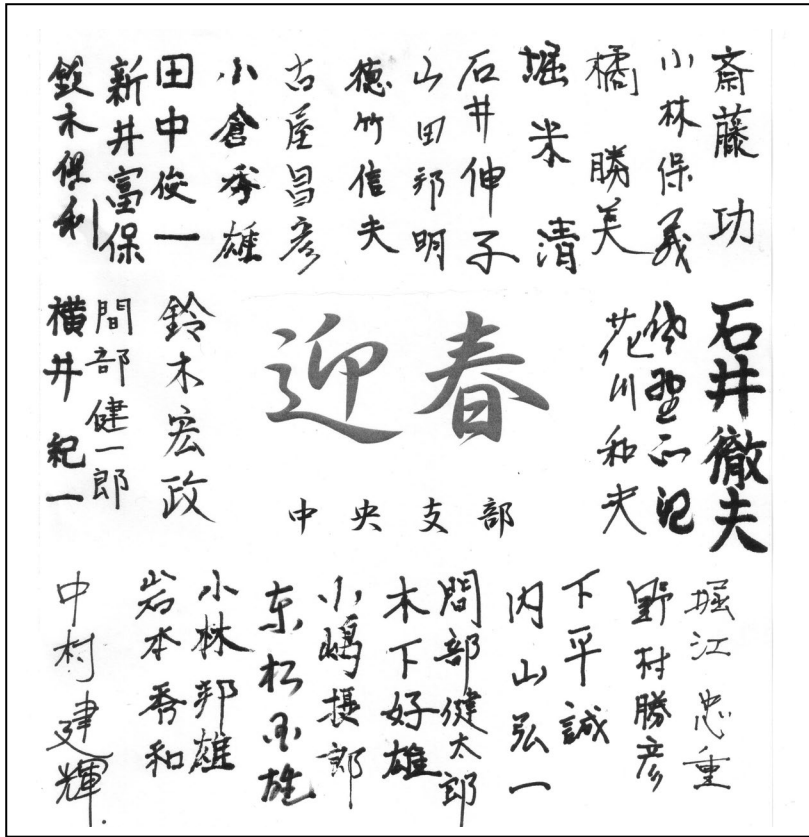
(大田支部環境月間講習会／平成 18 年 10 月 20 日)

謹賀新年 品川支部



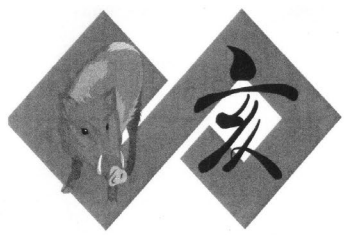
(品川支部家族忘年会／平成 18 年 12 月 2 日・高輪プリンス)

謹賀新年 中央支部



(中央支部環境月間講習会／平成 18 年 11 月 8 日)

謹賀新年 足立支部



2007年 元旦

東京都鍍金工業組合

足立支部

高橋利男
橋本孝
石川操
瀨古将治
大羽秀孝
小島一浩
菅谷信行
平塚幸男

瀬田新二
永田吉輝
永田一雄
小澤栄男
細井碧雄
橋本英雄
磯村博明

野澤泉司
長崎三治
町田進
黒須正信
松井直巳
豊日全造
石川芳英
菊池浩司



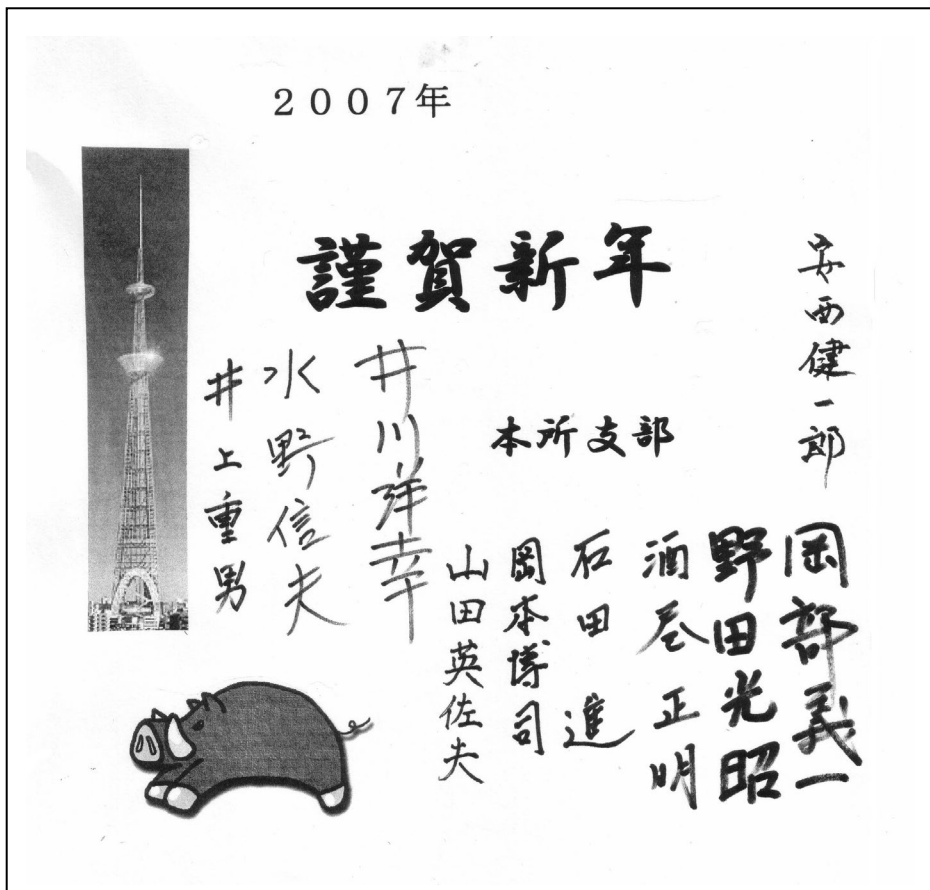
(あだち地場工業製品フェア(平成 18 年 12 月 11・12 日)において)

謹賀新年 葛飾支部



(葛飾支部忘年会／平成 18 年 12 月 2 日)

謹賀新年 本所支部



明けましておめでとうございます。

執行部の皆さまはじめ他支部の皆さまには常日頃から大変お世話になり感謝申し上げます。

今年は本所支部にとって大きな節目の年になると思います。皆さまのご支援ご協力をお願いいたしますとともに皆さまはじめめっき業界が益々発展することをお祈り申し上げます。

本所支部役員一同

<年頭所感>

都の産業労働施策への ご理解ご協力を

東京都産業労働局長 島田 健一



新年明けまして、おめでとうございます。

この一年が、皆様にとりまして飛躍の年になりますことを、心からお祈り申し上げます。

昨年、我が国経済は、平成14年2月に始まった景気拡大局面が「いざなぎ景気」を抜いて戦後最長を更新するなど、全体としては順調な回復軌道を進んだ年となりました。しかし、大企業の業績が大きく伸びる一方で、国際競争の激化や原油価格の高騰等を背景に、中小企業は依然として厳しい経営を余儀なくされており、景気回復の実感を得られない状況が続いております。さらに、団塊の世代の大量退職に伴う人材不足、後継者難や重い相続税負担等による事業承継の困難化など、多くの中小企業は深刻な問題に直面しています。

こうした中であって、昨年8月、東京都が2016年オリンピックの国内立候補都市に選定されたことは、時代を覆う閉塞感を払拭していく上でも、大変明るい話題でありました。都は、オリンピック招致を梃子として、世界に向け成熟都市・東京の魅力と存在感をアピールしていく考えであり、そのための長期的な都市戦略のキックオフともなる「平成19年度重点事業」を昨年11月に策定しました。この中で、「東京の経済を牽引する新たな産業の支援」を重要施策の一つに位置づけ、東京の持つポテンシャルの活用によりイノベーションを促進していくこととしております。

もとより東京には、企業・人材・大学・研究機関等の産業資源の高度な集積をはじめ、巨大かつ高感度の市場、国際的な情報や物流のゲートウェイとしての機能など、多くの優れた特性があります。東京のさらなる発展のためには、こうしたメリットを最大限に活用し、東京を支える産業基盤をさらに確固たるものにしていくと同時に、国際競争の激化にも対応可能な先進的な技術革新を行い、戦略的に産業の成長を促していく必要があります。

そのひとつとして、今後の成長が見込まれる分野で新産業の芽を大きく育てていくため、こうした産業の核となる民間の技術開発に対して研究費の助成や製品化の支援を集中的に実施する「重点戦略プロジェクト」を展開いたします。さらに、都立産業技術研究センター内のナノテクノロジーセンターを中心に、12企業・7大学等と連携・共同して、大気汚染物質の原因ともなるVOCを処理する先進的な浄化技術の開発に取り組み、環境問題の解決と新たな環境ビジネスの創出を目指してまいります。

また、東京の産業基盤をゆるぎないものとするため、低利資金を供給する制度融資を一層わかりやすく、使いやすい制度とするよう努めていくほか、事業承継等に係る税制をはじめとする諸制度の改善に向けて取組みを強めてまいります。さらに、首都大学東京の産業技術大学院大学と連携し、技術・経営の両面に精通した即戦力となる人材育成の講座を開設するなど、次代を見据えた人材育成にも力を入れ、都内中小企業を多方面からサポートしていく所存です。

終わりに、都の産業労働施策へのご理解ご協力をお願い申し上げますとともに、皆様の益々のご活躍、ご発展を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

<年頭所感>

「明日を、自ら信じて！」

大田支部支部長 佐藤富幸



平成十九年の新年を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

昨年は、春先より皇室のお世継ぎの話題が紙面を賑わせるなか、秋篠宮家に男児が生まれになり、戦後最長の景気の持続と合わせて久々に明るい年でもありました。

勿論、暗いニュースも限りなくありましたが、とにもかくにも、新しい年を迎えられたことを皆さん共々、感謝したい気持ちです。

ところで、業界を取り巻く環境も甘くは無く、原材料の高騰に好景気をあまり実感することなく年が明けたような気もしますが、亜鉛、ホウ素、フッ素の排水規制等とともに、嘆いて解決つく問題ではなく、受け入れることから対応策がスタートするような気もします。

また、組合員の減少への対応として、大田区を取り巻く城南地区では品川支部と城南支部との統合も目処がついたようですが、この支部の統合問題は、組合員減少に歯止めがかからない現状では、大同団結するしかないように思います。過去の軋轢や障害を乗り越えて行くところに解決の糸口があるのではないのでしょうか。

大田支部も現在、支部員は 68 社となり、毎年、廃業される企業が続いております。土壤汚染防止法や環境確保条例を考えると、事業の廃止、継続は極めて切実であり、顧客満足と環境規制への対応、後継者問題と従業員の高齢化、受注確保と設備更新などなど、抱えている問題はさまざまですが、そのいずれもが共通する悩みであり、課題だと思えます。

江戸時代の儒学者である佐藤一斎の『言志四録』に、「一燈を提げて暗夜を行く、暗夜を憂えること無かれ、只、一燈を頼め」とのことばがあり・人それぞれに自らの一燈火を確立し、それを頼みとし、信じて、先の分らぬ暗夜を急がず、怖れず、弛まずに行くしかないようです。

今年一年、悩みや問題を抱えながら、今年も皆さん共々、明日を信じ、自らを信じ、新しい年を有意義な年とするよう、お互い智恵を出しながら頑張って参りましょう。

<年頭所感>

青年部会存続 慎重に議論を



城南連合支部青年部会会長 入内島正悟

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては佳き新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

中澤前会長より会長職という重責をお預かりして瞬く間に2度目の新年を迎えました。顧みますと昨年の日本は「いざなぎ景気」越えと言う言葉を良く聞き、実際大企業では一昨年にひき続き過去最高の利益を記録する企業が数多く現れました。他方、我々のような中小零細企業は原油・非鉄貴金属等の高騰に見舞われ非常に苦しい立場に置かれ、実際に個人等で経営しているガソリンスタンドなどは廃業に追い込まれる事が多々見られました。このような状況の中、城南連合支部青年部会々員の皆様の協力はもとより親会であります城南連合支部（城南・品川・大田各支部）の皆様並びに事務局のお力添えもあり、昨年は愛知県への工場見学等、非常に活発な活動を行うことが出来、大変嬉しく思っている所であります。また、連合青年部会に於いては仁木連青会長の下、各青年部の皆様との協力のもとで講習会をはじめとする各種行事に参加することが出来ました。本年も皆様のご協力、お力添えを賜りながら新会員の入会、各種行事の企画や参加を進めていきたいと思っておりますので、何卒宜しく願いいたします。

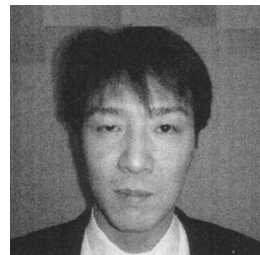
さて、本年は城南連合支部青年部会にとっても大変重要な年になると思っております。親会であります城南・品川支部の合併問題、組合員の減少、原油・非鉄金属等の価格の上昇、まだまだ続くであろう生産工程の海外移転等々、非常に厳しい環境が続く中、当青年部会がいかに存続していくか本格的に議論し或る程度の道筋をつけなくてははいけないと考えています。私は「人」が宝と常々想っております。この問題は当青年部会だけではなく他の青年部会の皆様と意見交換をしながら、親会の皆様のご指導、ご協力を賜りながら慎重に議論していきたいと考えていますので重ね重ね宜しく願いいたします。

最後になりましたが、組合員の皆様の益々のご健勝とご発展を祈念し、年頭のご挨拶に代えさせていただきます。

<年頭所感>

思いやりを大切に

葛飾支部青年部会会長 黒田 祐二



新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては佳き新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。
また、今年が皆様にとって希望に満ちた幸多き年でありますよう、心からお祈り申し上げます。

昨年6月より石川前会長より会長職という重責をお預かりして瞬く間に新年を迎えてしまいました。

会長に就任してから約半年、研修会（納涼会）・葛飾区産業フェア・葛飾支部との合同忘年会と定年行事しか青年部の活動を出来ませんでした。産業フェアに出展させて頂きました赤ちゃんのICメリーゴーランドは小学生や小さなお子さんを持つお母様方に評判が良かったらしく、青年部会としても勉強になりました。

昨年は子供を持つ親にとって最悪のニュース、自殺やいじめ問題が大きな話題になりました。私も子を持つ親として心を痛めたと申しますか、憤りを感じた話題でした。

子育ては親育てと言うことを聞いた事があります。私も子供に気付かされる事や教わることもまだ多々ありますが、思いやりの心を忘れずに接することが一番大事だと考えています。

そして、ホウ素・フッ素の19年6月までの暫定基準、亜鉛の規制強化、土壌汚染等の厳しい環境基準にも負けない位の青年部会の前向きな考えや意見に勇気付けられている現状です。

葛飾青年部会は昨年の12月15日に1名、正式に入会して頂き計10名になりました。私が会長職という重責をお預かりしてからは、不安と緊張の連続で色々と勉強になりました。今年は昨年出来なかった勉強会等を会員のみinnと話し合いの上、積極的に出来るように勤めたいと思います。今年もみなさまのより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。年頭のご挨拶に代えさせていただきます。

<年頭所感>

支部、本部への積極参加を



向島支部若葉会会長 岩井 孝之

皆様、新年明けましておめでとうございます。向島支部若葉会会長、岩井孝之です。組合員の皆様におかれましては、若葉会、ならびに連合青年部会でも日頃より大変お世話になっており、感謝いたします。

平成17年5月に会長になり、早いもので今年5月にその2年の任期を終えることとなりました。昨年、一昨年と経営、会社法等の勉強会を終え、若葉会会員にはこれからの事業承継、事業展開に少しは役立つ情報が渡せたのではないかと思います。また、連合青年部会に参加することによって得られた、業者間でのつながりで、意見交換や未知分野への対処法等の情報も得られたと思います。今後もこの横のつながりを使い、鍍金職人の意地と申しますか、誇りを持ち、鍍金業界の地位向上、さらには、信頼される技術で、社会に少しでも貢献できるようになって行きたいと思います。

また、向島支部に限定されることではないと思いますが、組合員数の減少で、今後の支部、ならびに本部の活動を進めていくにあたり、青年部から支部、本部への積極参加が必要になると思います。事実、向島支部では、青年部会員の内、約半数は支部役員になっております。青年部会員は現場の実動部隊ですが、仕事への影響を最小限にして、組合の活動を各社で担当し、役員継承を滞りなく行えるようにしたいと思いません。

任期の残り、約5ヶ月で鍍金設備の勉強、さらには業界内での横のつながりをより密にして、今後の各社の益々の発展に寄与するようにしたいと考えています。

最後になりましたが、今年も組合員各社の益々のご発展をお祈りしております。

<年頭所感>

「希望の年を迎えて」

西部支部青年部五月会会長 鈴木信夫



新年明けましておめでとうございます。

組合員の皆様には、健やかに輝かしい新春を迎えられた事とお喜び申し上げます。平成 19 年の年頭にあたり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

さて、昨年は、悲しい事件が相次ぎ、また格差社会を考える年となりました。「いざなぎ景気を超える景気」とされている現在の日本の経済について、その恩恵を甘受している企業が、どれ程居るでしょうか？

残念ながら、そうした実感は程遠く、年々厳しくなる国内競争や、海外との競争に打ち勝つ方策を模索し続けていると言うのが現状でしょう。一部の大企業では、空前の利益が報道されている傍ら、委託製造など従来の感覚では考えられない雇用慣行もあり、益々企業間や、個人の格差を広げているというのが、現状だと思います。

そんな中、私は歴史ある「五月会」の会長を拜命して 2 年目を迎え、多くの友人達と出逢い、語らうことが出来ました。先般も連合青年部の皆様と懇親する機会があったのですが、その中での話題は、「今後の活動のあるべき姿」ということでした。全く同じ内容について、五月会でも議論があり意見を申し上げましたのは、先輩の言葉でありました。それは、「日頃は、お互い商売の中では、争うこともあるが、いざと言うときには、一緒に戦わなくてはいけない時がある。その時に信頼しあえるように、まずは、知り合いそして、分かり合うということが大切なのではないか？」という事柄でした。私の尊敬する社長であり五月会の先輩の言葉です。

組合の仲間や、会社の仲間達と話すことはいつも大いなる希望です。僕らの会社にも明日があり、そして、会社にも大きな希望を持って生活しています。そして、我が五月会にも大きな希望があります。それは、何人かの新メンバー加入を打診されていることです。願わくば、一人でも多くの人と知り合い、希望を持って、未来を語り合いたいと願っています。それでは、失礼します。

<年頭所感>

自社を見つめなおし地固めを

十日会会長 太田 幸一



新年明けましておめでとうございます。

今年皆様にとって、幸多い年でありますよう、心よりお祈り申し上げます。

昨年は、海外への大企業の移転も落ち着き、一昨年より、仕事量としては多少動き出したと聞きますが、金属や薬品などの材料高騰などで、厳しい状況でした。

さらにR○HS 指令などが本格化し、使用薬品の制限などにより、薬品管理も難しくなりました。今までの土壌汚染の問題に加えて、今年からは、亜鉛の排水規制が5 ppm から2 ppm へと厳しくなり、めっき業界における経営環境は、年々悪化している感じが致します。そして今後は、少子化に伴う雇用問題や、地域環境の問題が加わるのではないかと考えられます。

これも時代の流れでしょうが、どうも納得がいきません。

今こそ、自社を見つめなおし、地固めをし、時代の流れにのった経営をしなければならぬ時ではないのでしょうか。

十日会の昨年の活動は、排水に規制されているホウ素、フッ素、また使用を制限されている六価クロム、カドミウムなどを使用しない代替薬品の技術講演を、講師の先生をお招きし勉強会を行ったり、また合理化を図っている優良企業の工場見学会などを行いました。

十日会には、「司会する、討論する、協力する」という基本精神があります。

今の時代、私の言葉に代えますと、自社を見つめなおす、長所短所を考える、必ずやり通す、という感じです。

めっき業は物づくりの国、日本には不可欠な産業です。同じ悩みを持つ者同士、切磋琢磨しながら日本産業に貢献したいと思っています。

今年もどうぞよろしくお願ひ致します。

大村理事長日誌



12月

2日(土)葛飾支部忘年会

4日(月)三宅茂樹都議セミナー

5日(火)広報委員会

6日(水)正副理事長会

次期理事長候補者指名委員会

7日(木)東京都中小企業団体中央会役員会

8日(金)東京都組合士協会、東京都事務局
長協会との懇談

11日(月)あだち地場工業製品フェア
近藤忠夫大田区議セミナー

12日(火)東京都中小企業団体中央会青年部
会との懇談

14日(木)高島なおき都議セミナー

15日(金)全鍍連次期正副会長候補者指名委
員会

18日(金)中川雅治参議員セミナー

21日(木)組合事務局打合せ

公防協組運営委員会

25日(月)東京都中小企業団体中央会打合せ

～組合・関連団体行事予定～

平成 19年(2007年)

2月3日(土)訓練校技能照査(実技)
城南連合支部新年会

2月6日(火)広報委員会

2月7日(水)正副理事長会・理事会

2月8日(木)環境委員会

2月13日(火)訓練校技能照査(学科)

2月16日(金)ふっ素処理技術小冊子作成委

2月17日(土)由田猛氏都知事表彰受章祝賀
会

2月21～23日(水～金)

METEC'07/東京ビックサイト

2月27日(火)訓練校成績判定会議

3月2日(金)全鍍連広報委員会(九州)

3月7日(水)正副理事長会
全鍍連技術委員会

3月8日(木)環境委員会

全鍍連環境対策委員会

3月13日(火)全鍍連国際委員会

3月14日(木)全鍍連近代化委員会

3月16日(金)訓練校修了式

4月3日(火)広報委員会

4月4日(水)正副理事長会、理事会

4月5日(木)環境委員会

4月6日(金)訓練校入校式

4月18日(水)監事会

4月25日(水)正副理事長会、理事会

4月27日(金)中央支部総会

全鍍連総務委員会

5月25日(金)正副理事長会、総代会

5月29日(火)全鍍連常任理事会・総会・理事
会

2月 あなたの予定表

日	曜	役員会・委員会他	環研集荷(ブロック長)	協 組 集 荷	メ モ
1	木			城東支部	
2	金		大田支部	葛飾支部	
3	土	訓練校技能照査実技			城南連合支部新年会
4	日				
5	月			城北支部	十日会例会
6	火	広報委員会	品川支部・大田支部	中央支部	
7	水	正副理事長会・理事会		目黒・世田谷地区	
8	木	環境委員会	城南支部	足立支部	
9	金		城西支部	葛飾支部	
10	土				
11	日				
12	月	建国記念の日			
13	火	訓練校技能照査学科	城西支部・城北支部	西部支部	
14	水			葛飾支部	
15	木		中央支部・本所支部	品川地区	
16	金			葛飾支部	
17	土				由田氏都知事表彰受章祝賀会
18	日				
19	月		向島支部		
20	火			向島支部	
21	水		西部支部	本所支部	
22	木		城東支部・葛飾支部	蒲田・大森地区	ME T E C' 07 (東京ビックサイト)
23	金			葛飾支部	
24	土				
25	日				
26	月		葛飾支部		
27	火	訓練校成績判定会議		城西支部	(社)表面技術協会総会
28	水		足立支部		

(役員会、委員会は変更する場合がありますので、本部からの通知をご確認下さい)

高島議員 都議会定例会で土壤汚染対策を質問

都議会自由民主党
政務調査会長・高島
なおき議員は、都議
会第四定例会代表質
問(06.12.7)で、土壤
汚染対策について、
5年間の実績の検証
とともに、実態の調
査、土壤汚染解決の
道筋を明らかにする必要があると質問し、
環境局長から、適切な調査分析方法や対策
方法の開発促進と普及に取り組んでいくと
の答弁を得た。



(高島議員)

18年第四定例会代表質問政調会長高島
なおき議員 質問事項(環境対策について)

現場ごとに最も効率的・効果的な対策を
講じ、土壤汚染対策をさらに進めていくた
めには、条例に基づく対策が進められてき
た五年間の実績を検証するとともに、改め
て実態を調査し、土壤汚染解決の道筋を明
らかにする必要があると考えるが、所見を
伺う。

環境局長答弁

土壤汚染対策についてであるが、土壤汚
染対策は都民の健康の確保と生活環境の保
全を、図る上で重要な施策であるとともに、
その促進は都市の健全な発展や地域の活性
化にも必要なものであると認識している。
このため都は、これまで幅広い分野の専門
委員による検討を行うとともに、事業者の
負担軽減につながる低コストの処理技術や
簡易な調査手法の普及を進めてきた。

土壤汚染対策を一層促進するためには、
当該地域ごとの汚染の広がり方や地質・地
下水との関係等に即して、効率的・効果的
な対策を講ずることが重要である。今後、
こうした観点に立って、業務の必要から有

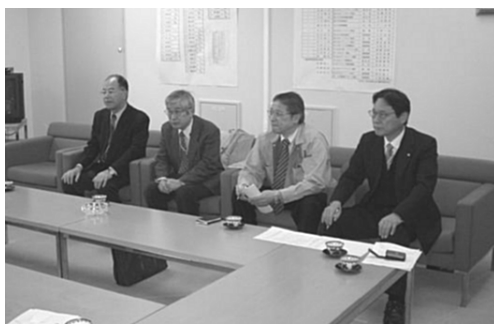
害物質を取り扱っている事業者の協力も得
て、より詳細に実態や土壤汚染メカニズム
の把握に努め、適切な調査分析方法や対策
方法の開発の促進と普及に取り組んでいく。

都議会自民党 東鍍工組役員と懇談

都議会自由民主党は、12月15日(金)、
都議会自民党会議室に東京都鍍金工業組合
執行部役員を招き、この経過を説明すると
ともに、土壤汚染問題について意見交換し
た。当日の出席者は次のとおり。

都議会自由民主党：宮崎章幹事長、松原
忠義幹事長代行(議連幹事長)、高島なおき
政務調査会長、大西英男議連会長、三宅茂
樹議連事務局長

東鍍工組：姫野正弘副理事長、川上洋一
副理事長、志田和陽副理事長、青木治郎工
組専務理事、小原俊幸協組専務理事。



正副理事長・専務理事 都庁へ新年挨拶回り

東京都鍍金工業組合・東京鍍金公害防止協同組合の正副理事長、専務理事は1月9日(火)、東京都関係部局へ新年の挨拶回りを行った。

出席者は大村功作理事長、姫野正弘副理事長、由田猛副理事長、川上洋一副理事長、八幡順一副理事長、青木治郎工組専務理事、小原俊幸協組専務理事で、午後2時都庁に集合、東京都産業労働局の島田健一局長をはじめ、産業労働局商工部、金融部、雇用就業部、福祉保健局健康安全室薬務課、環境局環境改善部、廃棄物対策部、自然環境部、水道局サービス推進部、下水道局施設管理部、経理部を訪ね、新年の挨拶を行った。

このあと、午後6時からの日本鍍金材料協同組合新年賀詞交歓会に出席した。



(写真上:島田産労局長と懇談、下:正副理事長・専務理事)

2月 高等職業訓練校授業案内

授業日(火・金) 授業時間(A:14:00~17:00 B:17:00~20:00 C:17:00~20:30)				
日	曜	時	科目	内容(予定)
2	金	A	原価管理② (生産工学概論)	加工高向上対策、標準原価算定法、価値分析。 平和工業㈱ 内藤 隆夫
		B	生産管理 (生産工学概論)	ニッケルめっきのめっき時間と膜厚、技能照査実技試験の実施方法の補足説明 東京都鍍金工業組合環研 長嶋 政人
3	土	1 日	技能照査実技試験	別途実施要領による 東京都鍍金工業組合技能教育委員会、環研
6	火	A	皮膜試験① (めっき法)	試験の概要、皮膜の外観、耐食性、厚さ、密着性等。 (独)東京都立産業技術研究センター 水元 和成
		B	皮膜試験② (めっき法)	耐久試験及び密着性試験の種類、特徴、方法、選択、耐磨耗性試験等。 (独)東京都立産業技術研究センター 水元 和成
9	金	A	機器分析① (排水分析)	排水分析に関する機器分析。【定期試験④】 東京都鍍金工業組合環研 志賀孝作
		C	実技(応用1)	各班によるテストピースの作製。 東京都鍍金工業組合環研
13	火	A	機器分析② (排水分析)	【技能照査学科試験】 東京都鍍金工業組合環研 志賀孝作
		C	実技(応用2)	各班によるテストピースの作製。 (独)東京都立産業技術研究センター 水元 和成 環研
16	金	A	廃液処理 (排水処理)	熱加水分解法による濃厚シアン廃液処理方法。 (株)アクアテック 大西彬總
		C	実技(応用3)	各班によるテストピースの作製。 (独)東京都立産業技術研究センター 吉本圭子 環研
20	火	A	めっきの原価計算 (特別講演)	パソコンを利用しためっきの原価計算方法 (株)東電工舎 山田英佐夫
		C	実技(基本1)	各班による各種の試験及び測定。 (独)東京都立産業技術研究センター 水元 和成 環研
23	金	A	めっきの不良対策 (特別講演)	各種めっき液の不良対策の方法について 東京都鍍金工業組合技術顧問 神戸徳蔵
		C	実技(基本2)	各班による各種の試験及び測定。めっき厚さ(顕微鏡)、熱衝撃試験等。 東京都鍍金工業組合環研
27	火	A	めっきデータベース (特別講演)	入門者向けと上級者向けめっき技術、計算プログラム、加工条件、トラブル対策など。 (独)産業技術総合研究所 廣瀬伸吾
		C	実技(基本3)	各班による試験及び測定、耐摩耗性試験、塩水噴霧試験など (独)東京都立産業技術研究センター 吉本圭子 環研

METEC'07

第36回表面処理材料総合展

2/21～23 10:00～17:00/東京ビッグサイト 東6ホール
(水～金)

主催 日本鍍金材料協同組合、(株)ICSコンベンションデザイン
協賛 全国鍍金工業組合連合会

最新情報/事前来場登録は<http://www.ics-inc.co.jp/metec/>

事前登録された方は展示会入場料3000円が無料となります。

同時開催 nano tech2007 国際ナノテクノロジー総合展・技術会議
ASTEC2007 国際先端表面技術展・会議
nano & neo 新機能性材料展
ナノバイオ Expo2007

METECはいま、大胆に変わります！

表面処理業界に長年親しまれ業界発展に貢献してきた「METEC」が2007年2月、東京ビッグサイトで大胆にリニューアルして開催されます。世界最大の先端テクノロジーイベントの「nano tech2007 国際ナノテクノロジー総合展・技術会議」、超微細レベルの表面処理・加工を対象とする「ASTEC2007 国際先端表面技術展・会議」、高機能性素材・高付加価値技術の「nano & neo 新機能性材料展」、ナノとバイオとの融合領域の「ナノバイオ Expo2007」の4つの展示会との同時開催により、総来場者数が5万人に達する見込みです。

従来の主な来場者である表面処理加工業者の方々に加え、自動車、家電、情報機器メーカー等の研究・開発関係者及び製造関係者等が大挙して来場することが予想され、新たな取引が期待でき、大きなビジネスチャンスが見込まれる展示会となります。

METEC'07では、表面処理製品・材料・加工技術・試験検査機器など従来のMETECの展示が再現されると同時に、表面処理技術の第一人者による技術講演会、加工品展示コーナー、技術・製品相談コーナー、ラッキープレゼントコーナーなどの特別企画もあり、商談+交流+楽しさを満載した、ちょっと見逃せない展示会となっています。

出展予定製品・技術

1. 表面処理薬品・材料・装置関係

めっき、アルマイト、塗装、塗料、溶射、気相、真空めっき、エッチング、フォトリソグラフィ、プリント配線板、熱処理、化成処理、硬化、環境保全、除害、保安などの薬品・材料・装置など。

2. 表面処理製品・加工技術関係

上記表面処理を施した製品、加工技術などの展示、宣伝など加工業者の技術に関するもの

3. 表面処理関係の試験・検査・研究用機器・機材関係

表面処理関係の試験・検査・研究に関する機器・機材及び試験・検査・研究の受託などの展示・紹介など。

4. その他表面処理に関するもの。



明けましておめでとうございます



<p>株式会社 都南ビーピー</p> <p>代表取締役 大村 功作</p> <p>本社 東京都目黒区上目黒4-5-1 〒153-0051 TEL03(3719)8221 FAX03(3760)9027 第一工場 東京都目黒区上目黒2-45-12 大村めっき工場 東京都目黒区鷹番1-1-12</p>	<p>京王電化工業株式会社</p> <p>代表取締役 姫野 正弘</p> <p>〒182-0021 東京都調布市調布ヶ丘3-6-1 TEL0424(83)1900</p>
<p>株式会社 協和</p> <p>代表取締役社長 由田 猛</p> <p>本社 東京都豊島区東池袋1丁目7番12号(日産ビル) 〒170-0013 TEL03(3986)1591(代) FAX03(3988)8923 工場 高崎第1・高崎第2・川越・シンガポール マレーシア・タイ・中国</p>	<p>合資会社東亜鍍金工場</p> <p>代表社員 川上 洋一</p> <p>〒146-0093 東京都大田区矢口2丁目32番7号 TEL03(3759)3446(代)~8 FAX03(3759)3448</p>
<p>株式会社 入谷電鍍所</p> <p>代表取締役社長 間部健太郎</p> <p>〒110-0012 東京都台東区竜泉1丁目9番3号 TEL03(3875)6146(代) FAX03(3875)6149</p>	<p>八幡鍍金工業株式会社</p> <p>代表取締役 八幡 順一</p> <p>本社 東京都江戸川区平井5丁目20番9号 〒132-0035 TEL03(3617)7707 FAX03(3617)7709 篠崎工場 東京都江戸川区篠崎町3丁目33番11号 〒133-0061 TEL03(3670)2120 FAX03(3670)2062</p>
<p>有限会社大森広尾鍍金工場</p> <p>専務取締役 志田 和陽</p> <p>〒143-0014 東京都大田区大森中1丁目11番5号 TEL03(3761)4946 FAX03(3761)4991</p>	<p>有限会社 朝日鍍金工場</p> <p>代表取締役 遠藤 清 専務取締役 遠藤清孝</p> <p>〒132-0025 東京都江戸川区松江4-20-11 TEL03(3653)3431 FAX03(3652)2225</p>
<p>株式会社 旭電化研究所</p> <p>代表取締役 溝口 昌範</p> <p>和光工場 埼玉県和光市白子2-28-8 〒351-0101 TEL048(461)2130 FAX048(466)5200 立川工場 東京都立川市一番町4-22-5 〒190-0033 TEL042(520)1772 042(520)1712</p>	<p>株式会社 歓鍍金</p> <p>代表取締役 中澤 敏明</p> <p>〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-34-2 TEL03(3441)4910 FAX03(3441)4640</p>



明けましておめでとうございます



<p>木村鍍金工業株式会社</p> <p>代表取締役 木村 秀利</p> <p>〒153-0064 東京都目黒区下目黒2-12-3 TEL 03(3491)7653 FAX 03(3491)4074</p>	<p> 株式会社 トーテック</p> <p>代表取締役 小谷野 英勝</p> <p>本 社 東京都目黒区下目黒2丁目13番7号 〒153-0064 TEL03(3493)0231 FAX03(3779)5296 千葉事業所 千葉県香取郡東庄町宮野台1-50 東庄工業団地 〒289-0623 TEL0478(87)1120 FAX0478(87)1018</p>
<p>藤田鍍金工業株式会社</p> <p>代表取締役 藤田 直人</p> <p>〒140-0004 東京都品川区南品川4-17-16 TEL 03(3474)3563 FAX 03(3474)3548</p>	<p>有限会社 伊豆鍍金工業所</p> <p>取締役 原 清一</p> <p>〒141-0031 東京都品川区西五反田7-5-1 TEL 03(3493)0308(代) FAX 03(3491)8795</p>
<p>株式会社 大崎金属</p> <p>代表取締役 吉川 進</p> <p>〒144-0033 東京都大田区東糎谷6-3-1 TEL 03(3744)8200 FAX 03(3745)4841</p>	<p>東京都鍍金工業組合 大田支部</p> <p>支 部 長 佐藤 富幸 副支部長 葛西 康二 副支部長 金子 俊明 副支部長 池谷 純一 役員 一同</p> <p>〒142-0064 城南連合支部事務局 品川区小山4-2-4 TEL 03(3785)0078 FAX 03(3788)1678</p>
<p>新日東電化協業組合</p> <p>理事長 鈴木 徳一</p> <p>〒143-0003 東京都大田区京浜島2-2-1 TEL 03(3790)2321 FAX 03(3790)2327 URL:www.threeweb.ad.jp/~snd</p>	<p>大森クローム工業株式会社</p> <p>取締役社長 小口順一郎</p> <p>本社工場 東京都大田区大森西1-1-3 〒143-0015 TEL 03(3761)3101 FAX 03(3761)3040 URL: http://www.ohmori-cr.co.jp</p>
<p>平和工業株式会社</p> <p>代表取締役 内藤 雅文</p> <p>本 社 東京都大田区京浜島2丁目2番4号 〒143-0003 TEL03(3790)1031(代) FAX03(3790)2828</p>	<p></p>



明けましておめでとうございます



<p>株式会社 篠根鍍金</p> <p>代表取締役 篠根 健一</p> <p>本 社 東京都荒川区東尾久2丁目9番1号 〒116-0012 TEL&FAX03(3895)1759 工 場 埼玉県草加市稻荷2丁目12番6号 〒340-0003 TEL0489(31)7675 FAX0489(31)2407</p>	<p>東京都鍍金工業組合 城北支部</p> <p>支 部 長 今泉 好隆 副支部長 高松 俊和 副支部長 田村 卓也 副支部長 野上 敬 副支部長 上田 浩司 役員 一同</p> <p>〒116-0001 東京都荒川区町屋 4-13-5 TEL 03(3895)8681 FAX 03(3892)0725</p>
<p>有限会社 平野メッキ工場</p> <p>代表取締役 平野普三雄</p> <p>〒116-0012 東京都荒川区東尾久2-3-7 TEL03(3895)5902 FAX03(3809)1966 三郷工場 埼玉県三郷市彦江1-71-1 〒341-0058 TEL048(953)2301 FAX048(953)2302</p>	<p>野上化学工業株式会社</p> <p>野上 敬 野上 悟</p> <p>〒114-0035 東京都北区田端新町1-11-13 TEL03(3894)5195 FAX03(3800)5195 東京工場・名古屋工場・羽生工場</p>
<p>株式会社 木下鍍金工場</p> <p>代表取締役 木下 好雄</p> <p>〒111-0013 東京都台東区浅草橋2-28-8 TEL03(3851)4810 FAX03(3866)4001</p>	<p>有限会社 上原メッキ工業</p> <p>代表取締役 上原 裕司</p> <p>〒334-0063 埼玉県川口市東本郷764-8 TEL048-282-1590 FAX048-282-3567 E-mail:hirosiu@muh.biglobe.ne.jp</p>
<p>東京都鍍金工業組合 中央支部 役員一同</p> <p>〒111-0013 東京都台東区浅草橋2-28-8 TEL03(3851)4810(株木下鍍金工場) FAX03(3866)4001</p>	<p>株式会社 梅田鍍金工業所</p> <p>代表取締役 永田 一雄</p> <p>〒123-0851 東京都足立区梅田3-16-1 TEL03(3880)1271 FAX03(3889)8530 k-nagata@pl-umeda.co.jp</p>
<p>東京都鍍金工業組合 足立支部</p> <p>常任理事 小澤 栄男 支 部 長 永田 一雄 副支部長 細井 碧 副支部長 石川 和男 副支部長 橋本 英雄 副支部長 磯村 博明</p> <p>〒123-0851 東京都足立区梅田3-16-1(株梅田鍍金工業所内) TEL03(3880)1271 FAX03(3889)8530</p>	<p>株式会社八神化学工業所</p> <p>代表取締役社長 永田 吉輝</p> <p>〒123-0856 東京都足立区本木西町8-25 TEL03(3890)4236 FAX03(3890)4238</p>



明けましておめでとうございます



太田鍍金工業株式会社

代表取締役 太田 寿一

〒124-0014 東京都葛飾区東四つ木2-10-17
TEL 03(3692)4560
FAX 03(3693)0020

神谷電化工業株式会社

代表取締役 神谷 博行

〒124-0012 東京都葛飾区立石2-18-8
TEL 03(3695)1304
FAX 03(3695)1346

葛飾硬質クローム株式会社

代表取締役 広根 淳一

〒124-0003 東京都葛飾区お花茶屋3-24-14
TEL 03(3602)6561
FAX 03(3602)6563

有限会社 亜鉛鍍金工業西谷

回転アエンメッキ専門

代表取締役 西谷 幸一

〒124-0025 東京都葛飾区西新小岩5丁目26番6号
TEL 03(3697)1484
FAX 03(3697)3593

東京都鍍金工業組合 向島支部

支部長 石田 昌久
副支部長 石崎 利一
副支部長 向坪 昭
副支部長 大場 章司
副支部長 深田 稔
役員 一同

〒131-0043 東京都墨田区立花5-17-17
TEL 03(3617)5779 FAX 03(3614)5653

株式会社 進光舎鍍金

代表取締役 池田 敏則

〒131-0041 東京都墨田区八広4-42-7
TEL 03(3612)6975
FAX 03(3612)6945

新東 株式会社

代表取締役 石田 昌久

〒131-0043 東京都墨田区立花5-8-2
TEL 03(3611)8251
FAX 03(3617)7102
E-Mail: Shinto@mekki.co.jp
URL: <http://www.mekki.co.jp>

東京都鍍金工業組合 本所支部

支部長 山田英佐夫
副支部長 岡本 博司
副支部長 酒巻 正明
副支部長 安西健一郎

〒130-0001 東京都墨田区吾妻橋3-10-9(株東電工会)
TEL 03(3622)8111 FAX 03(3622)8107

ノダプレーティング

野田 光昭

〒130-0021 東京都墨田区緑 4-20-16
TEL 03(3634)6661
FAX 03(3634)6662

東京都鍍金工業組合 西部支部

支部長 西原敬一
副支部長 柴 太
役員一同

〒184-0004 東京都小金井市本町1-7-1 SSビル
TEL 042(384)4718
FAX 042(382)8195



明けましておめでとうございます



<p>有限会社半田鍍金工業所</p> <p>代表取締役 半田 實</p> <p>〒189-0011 東京都東村山市恩多町5-43-14 TEL 042(393)0960 FAX 042(398)1977</p>	<p>ニシハラ理工株式会社</p> <p>代表取締役 西原 敬一</p> <p>本社・武蔵村山工場 東京都武蔵村山市伊奈平2-1-1 〒208-0023 TEL042(560)4011 FAX042(560)4044 狭山工場 埼玉県入間市狭山ヶ原108 〒358-0032 TEL04(2934)6116 FAX04(2934)4640 佐賀工場 佐賀県三養基郡上峰町堤2100-34 〒849-0124 TEL0952(53)1215 FAX0952(53)1210</p>
<p>高砂電鍍工業株式会社</p> <p>代表取締役 高村 昌利</p> <p>〒187-0032 東京都小平市小川町2-1972 TEL 042(341)3380 FAX 042(343)4582 URL:http://www.takasagodento.com</p>	<p> 株式会社 杉並化学</p> <p>代表取締役 角田 洋久</p> <p>〒196-0021 東京都昭島市武蔵野2-9-9 TEL 042(544)1578 FAX 042(544)3415</p>
<p>株式会社 吉崎メッキ化工所</p> <p>代表取締役 吉崎 一紘</p> <p>〒190-0033 東京都立川市一番町4-73-3 TEL 042(531)1242 FAX 042(531)6734 http://www.yoshizaki-mekki.co.jp info@yoshizaki-mekki.co.jp</p>	<p>東京都鍍金工業組合 亜鉛めっき部会</p> <p>会長 菊池 忠男 副会長 遠藤 清 副会長 半田 實 副会長 中村 昭人 副会長 内山 昇 役員 一同</p> <p>〒113-0034 東京都文京区湯島1-11-10 TEL03(3814)5621 FAX03(3816)6166</p>

現代ミステリー小説「名もなき毒」

どこにいたって、怖いものや汚いものには遭遇する。それが生きることだ。財閥企業で社内報を編集する杉村三郎は、トラブルを起こした女性アシスタントの身上調査のため、私立探偵、北見のもとを訪れる。そこで出会ったのは、連続無差別毒殺事件で祖父を亡くしたという女子高生だった。あらゆる場所に「毒」は潜む。(本書帯広告より)

著者は「本所深川ふしぎ草紙」、「模倣犯」などでおなじみの推理小説作家、宮部みゆき。

この中で我々が直面している土壌汚染などの環境問題が、事件の背景に絡んでいて、専門的によく描かれています。ご一読を。出版社、幻冬舎、1800円。

(足立支部 永田一雄)

名刺広告の空きに入れてください。

企業の魅力づくり、仕事への意欲づくりに 中退共制度に加入しませんか？

中退共制度（中小企業退職金共済制度）は、昭和 34 年に国の中小企業対策の一環として制定された「中小企業退職金共済法」に基づき設けられた制度です。

<制度の特色>

- ☆ 適格年金制度からの移行先です。
- ☆ 掛金の一部を国が助成します。
- ☆ 短時間労働者（パートタイマー等）の方も加入できます。
- ☆ 掛金は全額非課税になります。
- ☆ 加入前の勤務期間(過去勤務期間)通算制度と転職した場合の通算制度があります。
- ☆ 掛金は預金口座から振り替えます。退職金は直接退職者に支払いますので、管理が簡単です。

<掛金の種類>

- ☆ 月額 5,000 円から 30,000 円までの 16 種類です。
- ☆ 短時間労働者(1 週間の所定労働時間が通常の従業員より短く、かつ 30 時間未満の従業員)は、2,000 円・3,000 円・4,000 円の特例掛金でも加入できます。

<加入の手続き>

- ☆ 所定の申込書に記入・押印の上、お近くの金融機関又は委託事業主団体に提出して下さい。

<お問い合わせ先>

独立行政法人勤労者退職金共済機構 〒105-8077 東京都港区芝公園 1 - 7 - 6

中小企業退職金共済事業本部（中退共） TEL 03-3436-0151(代表)

<http://chutaikyo.taisyokukin.go.jp> FAX 03-3436-0400

東京都中小企業の景況

足踏み状態が続く中わずかに下向く

(12月調査 11月景況)

東京都産業労働局商工部

◎11月の都内中小企業の業況DIは▲32(前月▲30)と前月比2ポイント減少し、わずかに悪化した。本年7月以降、足踏み状態が続くなか、当月はわずかに下向く動きとなった。当月と比べた今後3ヶ月(12~2月)の業況見通しDIは▲13と横ばいとなり、前月と同様な見方となった。ただ、業種別では製造業、サービス業はやや明るさを増したが、卸売業、小売業は慎重な見方をやや強めている。

○都内中小企業の業況DIを業種別でみると、製造業は▲24と横ばいとなったものの、他の3業種は小売業が▲57(前月▲51)と6ポイント減と悪化、卸売業も▲30(同▲28)、サービス業も▲22(同▲20)といずれも2ポイント減とわずかに悪化した。業種区分別でみると、製造業の「一般・精密機械等」は大幅に改善したが、卸売業の「化学・金属材料」、小売業の「耐久消費財」「余暇関連」は大きく悪化した。

○当月と比べた今後3ヶ月(12~2月)の業況見通しDIを業種別でみると、業種により違いがみられた。製造業は▲8(前月▲13)、サービス業も▲4(同▲9)といずれも5ポイント増加し、見通しにやや明るさを増した。これに対し、卸売業▲14(同▲8)と小売業▲31(同▲25)はともに6ポイント減少し、見方に慎重さを加えている。

○前年同月比の売上高DIは▲32(前月▲26)と6ポイント減と悪化した。業種別でみると製造業は▲26(同▲15)と11ポイントの大幅な減少となった。また、卸売業も▲27(同▲20)、小売業も▲57(同▲50)といずれも7ポイント減と悪化した。サービス業のみ▲21(同▲25)と4ポイント増とやや改善した。

○前月と比べた仕入価格DIは+7(前月+10)と3ポイント減少し、依然プラス水準ながら、最も高かった8月(+25)に比べ落ち着いた動きとなった。業種別でみると、製造業は+16(同+24)と8ポイント減少、高水準が続いていた業種区分の「電気機器」も+36と8ポイント減少した。小売業は▲9(同▲7)と2ポイント減少、卸売業は+8と横ばいであった。

訃報

謹んでご冥福をお祈りいたします

山羽二郎様(公防協組元専務理事)は病气療養中のところ12月27日死去、80歳。告別式は30日午前11時半から世田谷区桜新町のくらしの友桜新町式場で行われた。喪主は長男の裕氏。

松下巖様(本所支部・㈱松下鍍金工業所社長)1月10日午後2時3分死去、73歳。告別式は13日正午から東駒形三丁目会館で行われた。喪主は夫人の節子様。



もつ鍋「繁柁」

岡 正典(西部支部)

新年明けましておめでとうございます。
本年も組合広報をよろしくお願い致します。

そして今回も私の紹介させていただく場所は吉祥寺です。吉祥寺駅から徒歩5分、もつ鍋の店「繁柁」(シゲマス)。昨年オープンしたばかりの新しいお店ですがたいへんな人気店で、いつも順番待ちの人が店の外まで並んでいます。店はけっこう広めで、1階のテーブル席と地下のお座敷になっており、テーブル席は30席ぐらいあると思います。私も去年の忘年会で使わせていただきましたが、予約をすれば個室のお座敷もあります。

お鍋はとんこつスープか和風のスープのどちらかを選んで、さらに味噌、塩、醤油の味付けを選びます。私のお勧めはこってりとんこつスープに味噌味です。もつ鍋以外のメニューもたくさんあります。お値段もたいへんお手ごろで、ひとり3000円ぐらいで十分お腹は満足できるでしょう。(お酒は別です)

「吉祥寺に本格博多もつ鍋屋が登場。のけぞる旨さを是非一度お試ください。」



というのがお店の売り文句ですが、ほんとにのけぞるほど旨いかどうかは是非ご自身でお確かめください。お越しの際はご予約をお勧めします。

もつ鍋「繁柁」

武蔵野市吉祥寺本町2-8-1

第2いなりやビル 1F

0422-29-7378



たまには天文学でも…



小島 一浩(足立支部)

三年前に私の趣味の一つである天体観測にまつわる話で、当時大接近した火星の話を取り上げましたが、今回は宇宙の話でもいかがでしょうか？

1. 星の種類について

(1)恒星：太陽と同じ種類の星 星座を形成している星

水素原子がぶつかり合い、ヘリウム原子に変わる核融合反応によって輝いている

(2)惑星：太陽の周囲を回っている星 太陽の光を反射して輝く

(3)銀河系内星雲、星団：我々の銀河系の中にあるガス状のものや、星の集まり

(4)銀河系外星雲：我々の銀河系と同じ恒星の大集団

島宇宙、ギャラクシーとも言う

2. 天動説と地動説

(1)2世紀にプトレマイオスという人が、宇宙の中心に地球があり、そのまわりを太陽、月、惑星、恒星が回っていると考えた

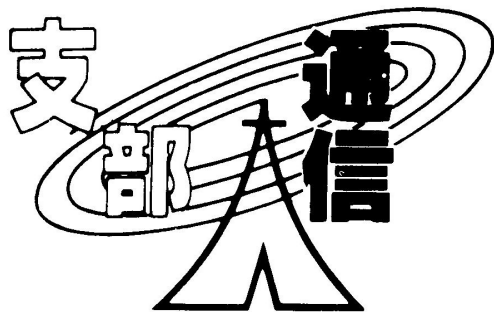
(2)16世紀にコペルニクスという人が、中心には太陽があり、そのまわりを地球を含めた惑星が回っていると考えた

3. 宇宙の始まり

1929年、ハッブルという人が、銀河のスペクトル観測から、銀河のすべてが地球から遠ざかっている、宇宙は膨張していることを発見した。これを逆に戻すと、その昔には宇宙が一点に集まっていて非常に高温・高密度の火の玉であり、さらにその前は時間も空間もない無の世界であった。つまり、宇宙は無の世界から突然大爆発を起こし、急速に広まったと考えられる。(ビッグバン)推定 150 億年前後



こういう話はここまででやめておきましょうか。最後に私がとった月の写真でも見てやってください。



■足立支部

あだち地場工業製品フェアに出展

足立支部(永田一雄支部長)は、足立区工業会連合会主催の「第7回あだち地場工業製品フェア」(平成18年12月11日(月)～12日(火)/足立区役所庁舎ホール)に、例年の通りめっきという仕事が足立区の大事な地場産業であることを一般の区民の方に理解してもらうため展示参加した。主な展示内容は、環境に優しい、亜鉛めっき、クロムめっき、超精密平滑な表面加工の硬質クロムめっき、外面ロジ



ウムめっきで内面金めっきのカップ、プラスチック上への装飾めっき、金、銀などの装飾めっき製品などである。特に、黒色3価クロメートの引っ掛けなど、工業的に新しい技術による製品紹介に力点が置かれた。出展社の展示品は次の通り。
足立工業株

- ①アルミダイキャストにクロムめっきした自動車部品
- ②ROHS規制対応の黒色ニッケル、スズ-コバルト合金めっき

(株)梅田鍍金工業所

環境に配慮した6価クロムを使用しない亜鉛めっき3価クロム化成皮膜



亜鉛めっき 3 価黒色クロメート

ストロンジウム 3 価黒色クロメート

ROHS 規制対応として黒ニッケル、スズ-コバルト合金めっき

小澤鍍金工業(株)

銀めっき上に塗装を施し金属光沢感を持たせたまま、様々な色調に出した装飾めっき製品

ROHS 規制対応の黒色スズ-ニッケル合金めっき

(有)磯村鍍金工業所

ニッケルめっき上に塗装を施し金属光沢感を持たせたまま、様々な色調に出した装飾めっき製品

(資)橋本鍍金工場

環境に配慮した 6 価クロムを使用しない亜鉛めっき 3 価クロム化成皮膜、静止めめっき法で作成した 3 価黒色クロメート製品

長 円(株)

網付け自動化設備でクロムめっきした携帯電話用マイクロ精密ネジ。

(有)小島鍍金工業所

外面にロジウムめっきを施し内部に部分金めっきしたカップ

硬化クロム工業(株)

フィルム圧延用ロールに超精密平滑な表面加工した硬質クロムめっき

石川鍍金(株)

RoHS 規制対応、プラスチック上の 3 価クロムめっき(白色、黒色)

ひかり工業(株)

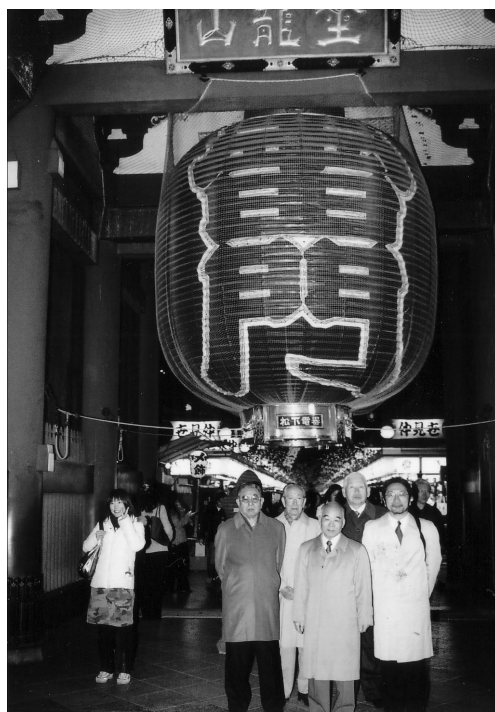
環境に配慮した 6 価クロムを使用しない亜鉛めっき 3 価クロム化成皮膜、静止めめっき法で作成した 3 価黒色クロメート製品

(有)黒須ロジウムメッキ工芸

金、銀、ロジウム、イリジウムなどの各種の貴金属メッキ

■中央支部

歴代支部長会開く



昨年暮れの 12 月 30 日に恒例の歴代支部長会を開催した。

例年のごとく午後 6 時に雷門前に集合、浅草寺に参拝し、今年の懇親の場所は雷門並びの中華料理の「正華飯店」にて開催した。

今回出席の方は、木下好雄支部長、小嶋撰郎常任理事、小林徳雄氏、東松国雄氏、内山弘一氏の 5 名である。初めに木下支部長より挨拶があり、今期限りにて 3 社の廃業による脱退が有るとのことで、今後の支部活動に支障を来す事に成るのではとの心配があり、支部内の部の再編成等、今後の活動に何かお知恵が有ったら教えてほしいとの挨拶があった。

料理、飲み物を堪能しながら雑談、来年、よい年であります様にと、お開きの時間になり解散した。

■足立支部

忘年会

足立支部(永田一雄支部長)は、12月7日(木)西新井大師門前の武蔵屋において24名が出席し忘年会を開催した。石川芳英総務の司会により、



午後6時30分に開会し、冒頭永田支部長より、「今年一年、支部員の方々には大変お世話になった。感謝申し上げます。支部長会などでは未だに大企業に比べて中小企業は利益が上がっていない、我々まで景気回復は回ってきていないという話が出る。組合でも支部員の減少、支部同士の統廃合といった話も聞くが、足立支部においては退会もあるが入会もあり、結果的には増加傾向にある。また、12月11、12日には足立区役所で展示会を開催するし、来年2月には東京ビッグサイトにおいてバイオテクノロジー関係の催しと並んでメテックが開催される。我々めっき業にとっては格好の宣伝となる。まだ2月まで時間があるので、新製品があれば私まで連絡いただきたい。最後に、今年もあとわずかとなってしまったが、体を大事に、元気に過ごしていただきたい。」との挨拶があった。続いて瀬田新二顧問による乾杯の音頭で開宴した。しばらく歓談の後カラオケに移り、お開きの時間となり、永田吉輝顧問による中締めで閉会した。

足立鍍友会忘年会

足立支部(永田一雄支部長)の足立鍍友会(高橋利男会長)は12月20日(水)午後7時30分より16名が参加し、上野広小路春花秋灯において忘年会を開催した。橋本文副会長の司会により開会し、高橋会長より、「年末の忙しい中出席していただいて感謝する。今年も明るい話題がなかったが、今日はOBも参加しているので、今年一年の憂さ晴らしとして楽しい一時を過ごそう。」との挨拶があった。続いて石川芳英相談役の乾杯の音頭で開宴した。楽しい時間も過ぎ、鍍友会会員として参加した小澤栄男氏の中締めで散会した。



『中国語』これはなにかな？

承 春先

三明治

中国語で言う「三明治」(San ming shi)は誰でも読めますが、しかし、それはいったい何を指しているのでしょうか？これを知る人は少ないでしょう。答えは「サンド・イッチ」です。

英語の「sandwich」が中国語の「三明治」に訳されましたが、これは廣東語の発音で、恐らく香港で通用してから中国語の標準語に改めて書いたものと考えられます。そこで、書き出された三文字は実のものの意味を持たない当て字になりました。

現在、廣東語では「三明治」の他に「三文治」San wen Zhi とも言います。「三文治」は「三明治」より英語の発音に近いと思います。

「三明治」に挟む具は、肉、野菜何でも合うので、現在中国ではダイエット食品として大人気です。ある店では「三明治」を「三圍治」Ssn Weizhi に書き直しました。「三圍」とは、バスト、ウエスト、ヒップの大きさを指しますが、この「三圍」のサイズを気にする人は、この「三圍治」を食べたら、治すことができるという意味です。

「サンド・イッチ」の売り上げは更に伸びているそうです。

編集後記

今年も沢山の年賀状を頂いた。ほとんどがパソコンで作られたものであるが、決まり文句だけのものは少し味気ないようにも思うが、近況を綴ったものや身内の写真、イラストの入ったものなど興味深く拝見することができた。

毎年、暮れになると年賀状の準備が大変である。何十枚、百枚を出すとなると、手書きでは追いつかなくなる。宛名やコメントを書くだけでも何日もかかってしまう。いきおいパソコンの力を借りたくなる。パソコンでも相手に興味をもって貰えるよう自分なりの工夫をしたくなるが、つい時間に追われて、出すことが先決とあきらめてしまう。

いただいた年賀状をみると、パソコン年賀状でも習い事をしている近況を綴ったものなど興味を引かれるものがあり、来年の年賀状にはこうした工夫をしてみようと思ったりする。

広報1月号

印刷 平成18年1月15日

発行 平成18年1月20日

(毎月1回20日発行 第40巻第1号)

発行所 東京都鍍金工業組合

〒113- 東京鍍金公害防止協同組合

0034 東京都文京区湯島1-11-10

Tel 03(3814)5621 FAX03(3816)6166

発行責任者 大村 功作

編集責任者 神谷 博行

印刷 スザキ企画 Tel 047(338)1222

〒272-0802 市川市柏井町2-1419-4

定 価 500 円